

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	石井 康智 いしい やすとも	所属	早稲田大学文学学術院
連絡先 (電話・E-mail)	勤務先： 162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 電話・Fax 03-5286-3545 (石井研究室直通) E-mail ishiy@waseda.jp		
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会中医心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10名 (うち認定心理士 0名) 非会員 1名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>社団法人日本心理学会中医心理学研究会 (以下本会) の目的は、日本心理学会会員を中心として、中医心理学という新たな領域に関する知見を深めるとともに、この心理学領域に関する理論的・実証的な研究を組織的に行い、その成果を広く公表することである。</p> <p>本会の2012年度の活動は、①研究集会の定期的実施、②日本心理学会第76回大会ワークショップにおける話題提供と討議の実施、③国際中医心理学学会を通じての中国研究者との交流であった。</p> <p>① 研究集会は、4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月28日、10月8日、10月29日、12月10日、3月5日の9回実施され、その主な内容は、中医心理学基本文献の抄読と討議、日本心理学会第76回大会ワークショップの実施及び運営に関する協議・準備・総括、次年度の計画策定であった。</p> <p>② 日本心理学会第76回大会ワークショップは、わが国で最も有訴率の高い「腰痛」を話題に取り上げ、腰痛に関するリエゾン療法の第一人者である紺野慎一氏 (福島県立医科大学) に登壇いただき、腰痛とこころの関係について話題提供を実施、いくつかの問題に関して心理学、中医心理学の視点から討議することができた。</p> <p>③ 国際中医心理学学会関連に交流については、電子メールでのやり取りの他、石井康智が、北京中医薬大学因亜教授主催のうつ症状に対する鍼灸治療の研究集会に発表参加した折、中国中医研究院廣安門病院副院長 汪衛東教授と2013年の国際中医心理学学会会議について、また病院の鍼灸治療現場とうつ病性障害患者の練功 (八段錦) を見学し、意見交換した (2012年12月16日～18日)。</p> <p>2013年度は今年度同様、定期的研究集会を実施するとともに、研究成果の公表をワークショップ等で行う予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		